

# 神奈川県議会議員

# 石川ひろのり

## 県議会レポート 2023 vol. 31

石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202  
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階  
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>  石川ひろのり 



## 約300億円の財源不足！県税の使い方を考える。

県は9月、令和6年度当初予算を編成するにあたり、介護・医療・児童関係費や公債費の増加を理由に現段階で概ね300億円の財源不足が見込まれると発表しました。財源不足は県債発行等で補填されており、私は限られた県税を有効かつ効率的に活用するため、事業成果の検証や市町村間の格差がある取組みを見直すべく、委員会等で質疑・提案を行っています。

### 生活困窮者対策推進本部の取組みについて

**石川** 令和3年11月、コロナ禍が長期化し県民生活に大きな影響を与えていることから、生活困窮者支援に全庁体制で取組むため、知事を本部長とした「神奈川県生活困窮者対策推進本部」を設置した。私はこれまで、支援が本当に困っている方々に届かなければ意味がない点を指摘し、全庁での支援活動を「見える化」するよう求め、その後、事業の見える化が進められた。その中で「介護業界に係るマイナスイメージの払拭を図るため、JR横浜線、小田急線、横浜市営地下鉄線などでトレインビジョンを活用した広報活動を行った」など、生活困窮者対策としての予算の使われ方を指摘してきた。そこで、以前より求めてきた**推進本部のこれまでの事業の検証と総括の結果と、今後、生活困窮者対策推進本部の継続・解散を含めた方針について**どのように検討されているのか。

**黒岩知事** 生活困窮者対策推進本部では、生活困窮者や支援に関わるNPOなどの意見を伺いながら、コロナ禍で特に色濃く影響を受けた、子ども、女性、孤独・孤立に陥っている方々の支援に取組んできた。例えば、コロナ禍で活動が困難になった子ども食堂や食料支援活動などを支える**協力金約8,500万円が約700の団体に活用され、活動の継続に貢献することができた**。また、新設したケアラー、ヤングケアラーのLINEや電話の相談窓口では約200件の相談に応じた。取組みは**概ね順調に進捗していると評価している**。また、これまで生活に困窮する当事者の目線に立って様々な取組みを行ってきたが、私たちの暮らしは、今もコロナ禍を払拭できたとは言えず、足元の物価高騰等も加わって依然厳しい状況にある。**今後も引き続き本部が中心となって生きづらさ、暮らしにくさを抱える方々の支援に全力で取組んでいく**。

さらに、推進本部の運営にあたっては、私が本部長として、徹底的に生活に困窮する県民の目線に立った施策を展開するよう指示している。今後、本部会議を開催し、これらの施策が県民に届いているかどうか私自身で確認し、しっかりとPDCAサイクルを回していく。

**石川** 年数回の本部会議だけでは、実効性のある施策を迅速に検証できるのか危惧している。知事には、**支援が必要な方々に迅速に届く「仕組み」を作るとともに、結果をしっかりと検証し、より実効性のある支援に繋げることを強く求める**。

### 県内観光客への受益者負担の在り方について

**石川** 外国人観光客受入環境整備や誘致のための予算は、厳しい県財政の中でコロナ以前とほぼ同水準となっている。一方、他の都道府県では観光の振興を図る施策に要する費用に充てるための法定外目的税、宿泊税を導入している地域がある。今後、観光客受入環境整備費用をどのくらいと見込んでいるのか。**その上で、厳しい県財政運営の中で、増加する観光客に対して宿泊税などの目的税導入により安定した観光財源を確保する取組みの検討が必要と考える**。

**黒岩知事** 観光客受入環境整備費用の見込みは、コロナ禍を経た現在、国際社会の動向の不透明さや、観光産業の人手不足など先行きが見通しにくい状況にあり**中長期的な費用の推計を行うことが難しい**。安定した観光財源を確保する取組みについては、令和3年に「神奈川県観光客受入環境整備協議会」が、横浜や箱根への宿泊者の偏在、宿泊事業者の事務負担等の課題から導入を拙速に進めるべきではないとの結論を出している。また、コロナ禍により観光需要は大きく落ち込み観光産業は未だ回復途上にある。観光産業が厳しい状況に置かれている中、事業者負担を伴う可能性のある財源確保の議論は慎重な対応が必要と考える。

**石川** 今後、少子化や県人口の減少が見込まれる。**私は目的税導入によって今年度約3億8千万円計上されている観光振興予算を福祉や少子化対策など県民生活に密着した事業に振り替えることができると考える**。ぜひ幅広く検討いただくことを要望する。



## 活動報告

### 夏まつり

7月、8月、麻生区内各地域で開催された「夏まつり」にお伺いしました。4年ぶりに開催された地域もあり、盆踊りのほかにも、吹奏楽やダンスがあったり花火があったりと各地域の特色もあり、たくさん子どもたちをはじめとする多くの方がお祭りを楽しんでいる姿が印象的でした。また、各会場で地域のお話をはじめさまざまなご意見、ご要望も直接お伺いさせて頂きありがとうございました。



### 県立高校「文化祭」

9月、麻生高校、麻生総合高校の文化祭にお伺いしました。両校とも新型コロナの影響で一般の方が入場しての開催は4年ぶりとのこと。会場は飲食ブースの出店、部活動紹介など楽しい催しが盛りだくさんでした。皆で協力して行事を盛り上げていく達成感をぜひ高校生活の良い思い出として残して欲しいと思います。また、来年それぞれの学校を目指す中学3年生、その保護者の方が直接、学校の雰囲気を感じることができるようになったこともとても嬉しく思います。楽しい時間をありがとうございました。



### 高石神社例大祭

9月、高石神社例大祭「神事」に出席させて頂きました。天候にも恵まれ御神輿出発前からたくさんの人で神社はとても賑わっていました。神事後、大太鼓が打ち鳴らされると子ども神輿・お囃子も出発。子どもたちの元気な掛け声が町に響いていました。350年以上続く「高石神社例大祭」。地域の伝統行事として末長く残して欲しいと思います。



## 敬老の日の集い

9月、4年ぶりに開催された「岡上町内会敬老の日の集い」にお伺いさせて頂きました。麻生区は男性84.0歳、女性89.2歳と平均寿命が男性、女性ともに日本一となりました。参加された方々からお話を伺うとウォーキングやサークル活動など地域活動に参加することが生きがいにつながっているとお話でした。地域のつながりが希薄になりつつあると言われますが、地域行事等を通じて皆さんが「顔の見える関係」を深めています。今後も、生きがいをもちながら地域で安心して暮らせる社会づくりが一層進むよう尽力して参ります。



## 県政報告(タウンニュース掲載)



### 石川ひろのり

1968年11月3日生まれ/横浜市出身/サラリーマンを約20年経験/参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験/麻生区在住

これまでの説明との食い違いがなされました。私は「宿泊療養施設の低い稼働率」についてコ

かながわ未来 県政報告 vol.48 第2回定例会一般質問にて質疑  
**「これまでのコロナ対応の検証と総括」を求める**  
 神奈川県議会議員 石川ひろのり

6月、県議会の一般質問で約380億円が費やされ、当初は大規模ホテルの配置も含めて、検証が必要である」と指摘しました。知事からは、「当然、一定程度の空室を設けて収容人数を算出しています。改めて、知事関係事業者を含めた検証と総括を求めました。」

5月に新型コロナの感染症患者の分類が5類に引き下げられ、県の宿泊療養施設の運営が終了しました。この事業には3配置や厳しい利用基準が望ましく、最大で県内13カ所に施設を開設し、延べ4万人の患者を受け入れたこと、希望する方々を概ね希望地域で受け入れたことから適切な運用であった」との答えがなされました。

初は大規模ホテルで受け入れ確保したもの、その後、自宅に近い場所を望む声が多く、最大で県内13カ所に施設を開設し、延べ4万人の患者を受け入れたこと、希望する方々を概ね希望地域で受け入れたことから適切な運用であった」との答えがなされました。

「一棟単位で借り上げた」とした点については、ホテルを借り上げる際、一定程度の空室を設けて収容人数を算出しています。改めて、知事関係事業者を含めた検証と総括を求めました。」

コロナ禍でも指摘を重ねており、その際は「入所要件を緩和し稼働率を上げたい」としていました。

**石川ひろのり 事務所**  
 麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202  
 ☎044-455-6611  
 ☎044-455-6614  
 石川ひろのり (検索)

第2回定例会一般質問にて質疑「これまでのコロナ対応の検証と総括」を求める 2023年7月28日号

## 石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選（現在3期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。  
 趣味：ジョギング（湘南国際マラソン・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録3時間29分28秒） 家族：妻、子供一人  
 好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりホームページ▶



石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。 石川ひろのり

**ボランティアスタッフ募集** 石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど 短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動への 支援(個人献金)のお願い 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいようお願い申し上げます。▼石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614

ご意見など

ご記入いただきました情報は業務に限り使用させていただきます。当事務所内にて適切な管理、監督を行います。

お名前

TEL

ご住所